

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
平成30年(2018年)
7月19日
発行責任: 校長 石井武

★2018夏、充実した夏休みのために・・・ サマーノートを活用して力をつけよう!!



37日間の夏休み、家族や親戚、ご近所や友だちとともに楽しい思い出をつくったり、クラブ活動や趣味、習い事などで充実した時間を過ごしたりとそれぞれの計画を考えていることと思います。

さて、五中では、昨年度から全学年共通のサマーノートを作成し、夏休みの宿題をはじめとした学習面や家庭での過ごし方、クラブ活動の練習や試合などの計画を自らがしっかり立てることにより、自主的、主体的に行動する姿勢や目標に向かって計画的、継続的に進めていく力を身につけていくきっかけとしています。

今回は、みなさんが元気に夏休みを過ごし、やる気を出して、根気強く計画を進めていくことができるようないくつかの「名言」とその解説を紹介します。



「世界記録より自己ベスト」

イチロー（プロ野球選手）1973-

まだ、イチロー選手が日本のプロ野球チームにいた頃の話です。ホームラン争いのトップに立っていた選手が、その重圧をイチロー選手に吐露（とろ）したことがあります。するとイチロー選手は「ホームラン王になりたくて野球をやっているんですか」と聞き返したそうです。

「誰かに勝ったときではなく、自分が定めたものを達成したときに満足できる」これはイチロー選手の言葉ですが、彼が大リーグで8年間破られることのなかったシーズン最多安打記録を塗り替えることができたのも、記録よりも自分との戦いに重きを置いていたからなのかもしれません。

他人と比較したり勝敗にこだわるのではなく、まずは自分のベストを引き出すことに集中してみましょう！



(「人生はワンチャンス」文響社より)

「君の一番の敵は君自身だ」

ヘンリー・ワーズワース・ロングフェロー（アメリカの詩人）1807-1882

＜ライバルよりも、自分の弱さに勝つこと＞

欲や感情に振り回されずに生きることは簡単ではありません。しかし、自分自身を厳しく律してゆかなければ正しい道を歩むことはできません。アメリカの国民的詩人ロングフェローの言葉は、私たちに勇気を与えてくれます。

最大の敵はいつも自分自身の中にいることを忘れず、毎日をしていぬいに誠実に生きてゆきたいものです。 (くまモンのふんわりやる気になる言葉 宝島社より)



「小さなことこそ全力で」

円谷英二（つばらやえいじ）（特撮映画監督）1901－1970

ゴジラやウルトラマンをつくった特撮の父・円谷英二は、どんな些細（ささい）なことにも手を抜かない人物でした。ゴジラを撮影する際には、当時の映画はモノクロであったにも関わらず、「ゴジラの口の中を赤く塗り」と指示を出しました。スタッフは首をかしげながらも言われたとおりにして完成した映像を見ると、ゴジラの口にはなんともいえないリアルな色味（いろみ）が宿っていたそうです。取るに足らないと思えることでも、手を抜くのではなく全力を注ぎましょう。そこで生まれるちょっとした差が、結果を左右するのです。



（「人生はワンチャンス」文響社より）

「世にも強きは自ら是（これ）なりと信ずる心なり」

徳富蘆花（とくとみろか）（明治・大正の小説家）1868－1927



<自分を信じてあげよう>

挑戦するにはふれなれない心が必要です。そのためには、自分が正しいことをしていると信じられなければなりません。それが本当に正しいことであれば、きっと周りの人々はあなたに優しく手を差し伸べてくれることでしょう。はじめは誰も信じてくれないとしても、まずは自分で自分の可能性を信じてあげることが大切です。

（「くまモンのふんわりやる気になる言葉」宝島社より）

「希望っていうのは、目覚めているときに見る夢のこと」

アリストテレス（古代ギリシャの哲学者）前384－前322

<起きているときの夢は自由自在！>

眠っているときに見る夢は自分の思い通りになりませんが、起きているときはどんな夢でも見ることができます。考えただけで胸が高まるような、理想の自分を夢想（むそう）すること。それはあなたが望む希望の**はず**です。希望があれば、どんな困難でも乗り越えられます。だからこそ、たくさんの夢を思い描きましょう。



（「くまモンのふんわりやる気になる言葉」宝島社より）

^{しのたま}子日わく、「^{すなわ} ^{くら}学^{すなわ}びて思^{あやう}わざれば、即ち^{すなわ} ^{あやう}罔^{あやう}し。」

思^{すなわ}いて学^{あやう}ばざれば、即^{すなわ}ち^{あやう}殆^{あやう}し。」

孔子（こうし）（中国の思想家）前551－前479

<考えることと学ぶことはどちらも大切>

孔子先生がおっしゃった。「人から学んだだけで、自分で考えてみることをしないと、何もはっきりとはわからない。ひとりで考え込むだけで広く学ばなければ、狭くかたよってしまう危険がある。」



（「こども論語塾」ポプラ社より）

